

【 6月9日(金) 室蘭民報(夕刊) 4面 】

背骨の変形テーマ 最新治療法を学ぶ

室蘭で製鉄病院セミナー

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の「第31回市民公開健康セミナー」が7日、室蘭市知利別町の同病院がん診療センターで開かれ、市民が「背骨の変形と最先端の治療」について理解を深めた。

市民ら60人が耳を傾ける中、小谷善久副院長・整形外科長・脊椎脊髄センター長が解説。乳幼児期から思春期までの側彎症のほか、成人側彎症や変性側彎症など、年齢を問わずに罹患する脊柱が変形する病気などを詳しく説明した。

その上で、最新鋭の術中モバイルCT(可動式コンピュータ断層撮影装置)



「背骨の変形と最先端の治療」について解説する小谷副院長

と最新式のコンピュータナビゲーションを導入した2013年(平成25年)6月以降、積極的に取り組む低侵襲脊椎手術(MIST)による脊椎固定術なども解説。

「正常な筋肉のダメージを最小限に抑え、小さな傷で進められる」などの効果を強調。「背骨の変形で悩んでいる人は、諦めずに受診を」とも呼び掛けた。

(松岡秀宜)